

見出し

行を!ではじめると見出しになります。見出しは3レベルあります。

!!! 大見出し
!! 中見出し
! 小見出し

大見出し

中見出し

■小見出し

テキスト装飾

シングルクォート2つで囲むと ' ' 青文字で強調 ' ' になります。
シングルクォート3つで囲むと ' ' ' 赤文字で強調 ' ' ' になります。
これは == 打ち消し線 == です。
これは _ 下線 _ です。

シングルクォート2つで囲むと青文字で強調になります。シングルクォート3つで囲むと赤文字で強調になります。これは打ち消し線です。これは下線です。

引用

"" これは引用です。
"" これも引用です。

これは引用です。
これも引用です。

説明

: 項目 : 説明文

項目
説明文

:: 項目
::: 説明文は複数行にわけて書くこともできます。
::: こんな感じで。

項目
説明文は複数行にわけて書くこともできます。こんな感じで。

項目

行を*ではじめるとリストになります。リストは*の個数に応じて3段階までネストすることができます。

* 項目 1-1

** 項目 2-1
** 項目 2-2
*** 項目 3-1
* 項目 1-2
** 項目 2-3

- ・ 項目 1-1
 - ・ 項目 2-1
 - ・ 項目 2-2
 - ・ 項目 3-1
- ・ 項目 1-2
 - ・ 項目 2-3

行を + ではじめると番号付きリストになります。

+ 番号付き項目 1
++ 番号付き項目 1-1
+ 番号付き項目 2
+ 番号付き項目 3

1. 番号付き項目 1
 1. 番号付き項目 1-1
2. 番号付き項目 2
3. 番号付き項目 3

リンク

*<http://www.yahoo.co.jp/>
*[\[Google|http://www.google.co.jp/\]](#)
*[\[\[FrontPage\]\]](#)
*[\[\[トップ |FrontPage\]\]](#)

- ・ <http://www.yahoo.co.jp/>
- ・ [Google](#)
- ・ [FrontPage](#)
- ・ [トップ](#)

テーブル

CSV はテーブルになります。1 行目がヘッダになります。

,1-1,1-2,1-3 ,2-1,2-2,2-3		
1-1	1-2	1-3
2-1	2-2	2-3

整形済テキスト

行頭をスペースまたはタブではじめると整形済テキストとして扱われます。

これは整形済テキストです。
入力したとおりに表示されます。

水平線

行頭に ---- と書くと水平線になります。

コメント

行を//ではじめるとその行はコメントとみなされます。コメント行は一切出力されません。

// これはコメントになります。画面には出力されません。

プラグインの使用

プラグインの使い方の詳細は[こちら](#)を参照してください。

以下、よく利用する代表的なプラグインを紹介します。

画像の表示

まずは画像を表示したいページに対して「添付ファイル」として画像をアップロードします。その後、アップロードした添付ファイル名を、以下のように記述すると、その場所に画像が展開されます。

```
{{ref_image test.png}}
```

目次を自動作成する

「見出し」の目次を自動生成し、表示するためには、以下の記述をします。

```
{{outline}}
```

InterWiki

まずは [InterWikiName](#) にサーバを記述します。URL の別名アンカをリストとして記述します。必要に応じて別名アンカのあとに続けて文字コードを指定します。

```
*[Google|http://www.google.co.jp/search?hl=ja&btnG=Google+%8C%9F%8D%F5&lr=lang_ja&q=] sjis
*[YukiWiki|http://www.hyuki.com/yukiwiki/wiki.cgi?] euc
```

次のように使用します。

```
[[YukiWiki:Perl]]
[[Google:Perl]]
```

別名でアンカを作成することも可能です。

```
[[Google で検索 |Google:Perl]]
```

Keyword

[Keyword](#) にキーワードを記述しておくことで任意のテキストに自動的にリンクがはられます。キーワードは通常の別名アンカをリストで記述しておくだけです。URL と Wiki ページのどちらでも OK です。

*[[Google|http://www.google.co.jp]]
*[[Wiki|Wiki クローン]]

ヘッダ、フッタ、サイドバー

Header、Footer、Menu という名前のページを作成するとそれぞれヘッダ、フッタ、サイドバーが表示されます。また、EditHelper というページを作成するとページの編集画面の下部にヘルプとして表示されます。